

調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第14号

10月19日
2005年

発行＝憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15
あくろす2階 市民活動支援センター内
メールボックス6番
FAX 番号：0424-83-1566 大野気付

E-Mail : chofu9jou@yahoo.co.jp

今後の日程
11月4日(金) 18時半～
拡大世話人会
12月3日(土) 13時～
ピース・メッセーじ
12月23日(金) 13時半～
第10回「憲法ひろば」
戦中戦後の体験を聴く(3) 田辺俊三郎さん
終了後「望年会」
1月22日(日) 13時半～
第11回「憲法ひろば」
憲法国民投票法案について 笹本潤さん

第9回「憲法ひろば」

10月16日午後 国領のあくろすホールで開いた第9回「憲法ひろば」には38人のみなさんが参加。深大寺北町にお住まいの竹内静代さんが体験された「東京大空襲」のお話を聞きました。

覚えていなくて悲しい

数々の軍歌とスローガン
今の誰かさんのやり方と違う!

竹内静代さんの 戦中・戦後体験

「進め1億火の玉だ」「壁に耳あり障子に目あり」「ゼイタクは敵だ」などなど、短い言葉で調子よく頭に入ってくるスローガン。次つぎに口をついて出てくる軍歌。無意識のうちにしみこんでいることが、悲しいというよりおそろしいことです。いま、これとそっくりなやり方で世論を揺さぶっている誰かさんを見るにつけ、これは気をつけなければいけない、ホントに思います。

いのちの尊厳を学んで

私もりっぱな軍国少女だったけど
逃げる時はそんなもの吹き飛んじゃった

母から「今日は休んで」と言われたとき、「私が休むと日本は負けちゃう」と答えたほど、学徒動員で工場に通っていた私は立派な軍国少女だったけど…。火に追われて逃げる時は「一億一心」とか「隣組」とかは吹き飛んでしまった。戦後、教師になつて「教え子を再び戦場に送るな」と言う道を見つけた。目の前にいる子どもたちを育てながら、また自分の子を育てながら、命の尊厳を学んできたと思います。戦争を体験した人がもつと語らなければね。…竹内さんの静かなまなざしに強い意志が光りました

こんな焼夷弾が防空壕の屋根に!



二度も焼け出されて逃げ惑ったの

四五年二月二十五日、大雪の日、防空壕の屋根に油脂焼夷弾が五、六発刺さつて、私たちは原っぱへ逃げた。機銃掃射も受けた。後で気付いたら母はお釜を、私は枕を抱えていた。家をなくした私たちは友だちの家にお世話になったけれど、三月九日にはまた焼け出された。父と母と手を繋いで「暗いほうへ」「暗いほうへ」と逃げ回った恐怖の一夜。翌朝に見た焼け野原と化した町。乳児を抱いたまま黒焦げになった母親の姿。六〇年経った今でも決して忘れることができない。

●「父と暮せば」上映会(12月3日)の入場券の普及とポスターの貼りだしにご協力くださる方、ご連絡ください●